

第10回特別展

大河 アムールの民・ナーナイ

アムール民族芸術博物館収蔵資料展



1995.7.1^土-9.8^金

9:30-18:00 (7.1-8.31)

9:30-16:30 (9.1-9.8)

休館日：月曜日

特別展観覧料

小学生・中学生	高校生・大学生	一般
50 (30) 円	80 (50) 円	250 (200) 円

かつこ内は10人以上の団体の場合

講習会「ドンカーンの木彫り教室」

8月5日(土) 14:00-15:30

講師 A.P.ドンカーン氏(彫刻家・アムール民族芸術博物館長)

講演会「ナーナイ・現在から未来へ」

8月6日(日) 14:00-15:30

講師 A.P.ドンカーン氏

■協力

アムール民族芸術博物館

新井利男写真事務所

萱野茂氏/シシリムカニ風谷アイヌ資料館



大河アムールの民・ナーナイ —アムール民族芸術博物館収蔵資料展—

ナーナイと

アムール民族芸術博物館資料

大河アムールの流域には漁撈・狩猟で暮らしをたててきたいくつかの民族がいます。

ここで紹介するナーナイもそのひとつで、アムール川下流、松花江、ウスリー川流域に居住し、チョウザメ、サケなどの大型魚やコイ、ナマスなどの川魚を主としています。

また深い森でのシカ、クマ、キツネ、テンなどの狩猟と、コケモモ、キノコなどの採集も漁撈とともに重要な位置を占めています。ナーナイは、このような恵みを与えてくれる自然界のすべてのものに、人間と同じく魂（たましい）があり、それらは人間と同じように分別をわきまえていると信じています。

今日、漁撈・狩猟を主とする伝統的な生活も周辺から入り込むテレビ、自動車、アルコールなどの物質文化の「波」で徐々に変化をしつつあります。ナーナイの血を受け継ぐアナトーリ P. ドンカーン氏は、大学で彫刻と絵画を学んだのち、急激に変化するロシアで、自分たちの民族文化を残し後世に伝えたいという思いから、アムール川流域のナーナイの村々を訪れています。そこで氏は、物質文化の保存や年配者からの聞き取りなどに励むとともに、とくに衣服の仕立てや刺繍、彫刻などをよくする「民族芸術家」を物心両面から支援しています。

本展ではドンカーン氏がこのような過程のなかで収集し、私設アムール民族芸術博物館に収蔵された主としてナーナイの資料をご紹介します。

氏自身が精霊を信仰していること、また彫刻家であることから、全展示資料に占める偶像の割合が大きいのが特長ですが、ナーナイの信仰にかかわるものがこれほど多く紹介されることは珍しいことです。また衣服や壁掛けにみられるように、現代に受け継がれるナーナイの芸術にも目を見張るものがあります。

本展がおおくの方の目に触れ、アムール川流域の先住民ナーナイを理解する一助になれば幸いです。

このアムール民族芸術博物館の収蔵資料展は、昨年6月から11月にかけてシシリムカ二風谷アイヌ資料館（平取町）において行なわれたもので、当館で引き続き開催できることになったのは、同館館長菅野茂氏のご尽力によるものです。



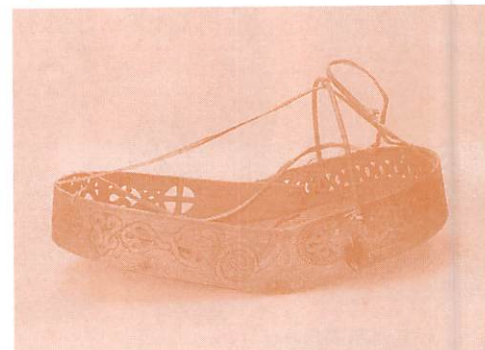
1



3



2



4

- 1 婚礼衣装（ナーナイ）
- 2 木偶（ナーナイ）
- 3 木偶（ウリチ）
- 4 ゆりかご（ナーナイ）

7・8月の行事案内

■博物館クラブ

「ペーパークラフトーナーナイ風ペンスタンドをつくる」

7月8日(土) 10:20-11:30 講師：当館職員

「粘土クラフトー土笛の形をつくる」

8月12日(土) 10:20-11:30 講師：当館職員

「粘土クラフトー土笛を焼く」

8月19日(土) 10:20-11:30 講師：当館職員

■北方考古学セミナー

遺跡調査をとおして北方地域とのつながりを考えます。発掘調査参加を含め全7回開講します。詳細は当館までお問い合わせください。

第1回 8月10日(木) 18:30-20:30

■講演会、講習会：表面の案内のとおり

交通案内

J R網走駅から約5 km

女満別空港から約23km

網走バス天都山線で網走駅前から約20分

(道立北方民族博物館前下車、駅から290円)

タクシーで駅前から約10分

駐車場有り（無料）

ベビーカー、車いすを用意しています。

身障者用トイレ有ります。



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093 北海道網走市水潮見313-1

☎ 0152-45-3888